令和５年度

予算のあらまし

小鹿野町公式ご当地キャラクター
おがニャッピー

花と歌舞伎と名水のまち

小鹿野町

目　　次

はじめに ---------- １

１　人口減少にまけない　小さくても輝き続けるまち ---------- ２

２　本町の自然や特性を活かした地域経済の創生 ---------- ４

３　かがやく未来へ　おがの人づくり ---------- ８

４　すべての世代に配慮された社会保障の充実 ---------- １１

５　快適で安心して暮らせる環境の整備 ---------- １５

６　その他の取組 ---------- １９

７　秩父広域市町村圏組合への負担金等 ---------- ２０

令和５年度町道・林道工事施行箇所位置図 ---------- ２１

令和５年度小鹿野町予算の概要 ---------- ２２

資料編

１　一般会計当初予算の推移 ---------- ２３

２　普通交付税の推移 ---------- ２３

３　基金（貯金）残高の推移 ---------- ２３

４　地方債（借金）残高の推移 ---------- ２４

５　財政指標 ---------- ２４

６　使途の明確化が必要な財源の充当 ---------- ２５

７　小鹿野町役場・担当一覧 ---------- ２６

はじめに

令和２年１月に新型コロナウイルス感染症の感染者が、国内で初めて確認されてから今日に至るまで、町としても感染拡大を食い止めようと、町民生活への支援を中心に様々な対策を講じてまいりました。５月連休明けから、新型コロナウイルス感染症の分類が５類へと移行されましたが、一日でも早い、日常生活及び経済の回復を願うばかりです。

さて、本町の財政状況は、歳出において、これまでの普通建設事業に多くの町債（借金）を財源として充当してきていることから、平成２５年度以降、町債残高は増加し、毎年度の公債費（返済額）についても年々増加しております。そのほか、少子高齢化に伴う社会保障費の増加や老朽化した施設の修繕などに多くの費用を要しております。一方、歳入においては、ここ数年の出生人口が２０人から３０人前後と減少しており、今後、生産年齢人口（１５歳～６４歳）の急激な減少により、町税の大幅な減少が見込まれ、非常に厳しい財政運営になることが予測されます。

こうした厳しい状況であることを職員一人一人がしっかりと認識し、歳出においては、事業の実施目的や効果について再検証を行い、歳出削減を図るとともに、歳入においては、国や県などの補助金を積極的に活用するほか、企業版ふるさと納税等の活用についても検討するなど、財源確保に取り組むことを念頭に、町民ファーストの行財政運営に向けた予算編成を行ったところでございます。

本予算のあらましは、令和５年度予算を町民の皆様にご理解いただくため、主なものについてご説明したものとなっております。なお、予算計上した事業におきましても、今後の新型コロナウイルス感染症の変化により、やむなく内容変更をする場合がございます。

引き続き皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、発行に当たっての挨拶といたします。

令和５年５月

小鹿野町長　森　　真　太　郎

１　人口減少にまけない　小さくても輝き続けるまち

住み続けたいまちづくり・移住したくなるまちづくり・交流活動の推進

人口の減少を抑制するため、住まいや仕事の確保なども含めた積極的な移住・定住対策を進めます。また、定住者の就職や結婚、住居の取得など人生の転機において、小鹿野町に住み続けることを選択したくなるまちづくりを進めます。

町の内外を問わず、小鹿野町を愛し、まちづくりに関わる人を増やすことで、様々な人の技術・知識を融合させたまちの活性化を図ります。

【一部新規】

移住促進事業費	526万円

担当：まちづくり観光課

移住支援コーディネーターによる移住相談窓口の運営や移住希望者に対する相談業務を行うほか、東京都港区や渋谷区笹塚仲町会との交流事業を行い、関係人口及び交流人口の拡大を図ります。

笹塚駅前けやき広場での
小鹿野産野菜直売会の様子

【継続】

定住促進事業費	417万円

担当：まちづくり観光課

新婚又は子育て世帯若しくは転入者が、町内に住宅を取得する場合又は町内の民間賃貸住宅に入居する場合に、住宅取得費や民間賃貸住宅の家賃に対して補助金を交付します。住宅取得費に対して、最大２０万円（施工業者が町外業者の場合は１０万円）を補助します。民間賃貸住宅の家賃に対しては、月額１万円（２年間）を補助します。転入者が新築、購入した住宅に対しては、固定資産税分を補助します。

【継続】

結婚新生活支援事業費	60万円

担当：こども課

令和５年度も引き続き、少子化対策の一環として、新婚世帯が町内に新居を構える費用（住宅取得費や引越費用など）の一部を補助します。対象は、令和５年度中に婚姻届を提出し受理された、世帯所得５００万円未満の３９歳以下の夫婦に、３０万円を上限に補助します。また、ともに２９歳以下の夫婦は６０万円を補助します。

【継続】

移住就業支援金事業	310万円

担当：まちづくり観光課

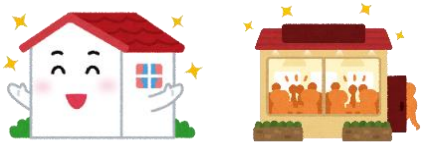
Ｕターン・Ｉターンでの就業者や起業者、テレワーク、関係人口等に関する要件を満たした方に対して助成金を交付します。交付額は、単身者の場合が６０万円、世帯の場合は１００万円を上限に交付します。さらに子育て世帯には３０万円を追加で交付します。

【継続】

店舗・住宅リフォーム資金助成事業費	600万円

担当：産業振興課

町内事業者に依頼して実施する既存住宅（店舗含む）の改善リフォーム工事に関する経費の一部に対して、対象経費の１０分の１以内の額で、店舗については２０万円、住宅については１０万円を上限に助成します。



【新規】

住宅用地整備事業費	1,030万円	担当：まちづくり観光課・建設課

定住促進事業を推進するため、未活用の町有地等を活用して宅地分譲等の住宅用地整備事業を計画します。

【継続】

集落支援総合対策事業費	445万円	担当：総合政策課

地域のアドバイザー及びコーディネーターの役割を担う地域交流支援員を配置して、地域おこし協力隊や移住者等が地域に馴染めるよう支援を行うほか、大学連携事業を通じて関係人口の増加を図ります。

大学生による発表の様子

町民と大学生の交流の様子

【一部新規】

企画事務費（一部）	1,372万円	担当：総合政策課

町の政策全般のための費用です。埼玉西武ライオンズや大学などとの連携事業を継続して行うほか、令和５年度は、民間の交通事業者等で組織される「公共交通協議会」に対して支援を行い、利便性の向上と財政負担の軽減など、どのような公共交通網を形成することが一番有効かなどの検討を行い、公共交通計画を策定します。

外部人材などの活用

地域おこし協力隊をはじめとする外部人材との協働や官民連携など、新たな風を巻き込んだまちづくりを進めます。町では４月１日現在、１１名の地域おこし協力隊員が、移住促進や産業・観光・畜産振興など、町の活性化に向けた活動を行っているほか、計２社から地域活性化起業人を受け入れ、町の活性化事業に取り組んでおります。

【継続】

地域おこし協力隊事業費	1,440万円	担当：総合政策課 まちづくり観光課

移住検討者に対しての相談業務や町の案内のほか、ワークショップなどのイベントを開催し、関係人口の創出などに２名の隊員が活動しています。また、空き家の活用促進を図るため、隊員を新たに募集します。

【一部新規】

関係人口創出推進事業費（一部）	480万円	担当：まちづくり観光課

お試し住宅やみどりの村おがの若者センターを活用したワーケーション・テレワーク事業の企画や日程調整など、関係人口及び交流人口増加の推進に向けて、１名の隊員が活動しています。

【継続】

観光総務費（一部）	560万円	担当：まちづくり観光課

町のイベントや施設を活用した観光振興の活性化に向けて、１名の起業人が活動しています。

【継続】

クライミングによるまちおこし事業費（一部）	480万円	担当：まちづくり観光課

クライミングパーク神怡舘でのボルダリング指導や町内の山岳観光振興のため１名の隊員が活動しています。

【一部新規】

地域商社事業費（一部）	960万円	担当：地域商社推進室

「株式会社地域商社おがの」の運営を支援していくため、施設経営企画や商品開発などの観光振興に１名の隊員と１名の起業人が活動しています。

【継続】

産業イノベーション事業費	1,610万円	担当：産業振興課

森林整備や地元木材を活用した商品開発などの森林サービス事業の振興や環境保全型農業を中心とした農業振興のほか、養蜂と花卉の振興、畜産振興などに４名の隊員が活動しています。

【継続】

生涯学習まちづくり事業費（一部）	983万円	担当：生涯学習課

町民だれもがいつでも・どこでも・なんでも気軽に学びたいことが学べるよう、ライフステージに合わせた様々な学習の場や機会の充実を図るため２名の隊員が活動します。おがの化石館でイベントの開催など魅力化を推進します。

２　本町の自然や特性を活かした地域経済の創生

農林業の振興

農林業については、若い人が新たに農林業を始めることができる環境を整備するとともに、「おがのでなければ買えない・食べられない」「おがの」ならではの特産品の開発を目指します。

【継続】

次世代担い手自立促進事業費	750万円	担当：産業振興課

令和５年度も引き続き、独立した新規就農者が農業経営を継続していけるように、自営農業を始めてから経営が軌道に乗るまでの期間、補助金を交付して経営を支援します。

【継続】

新規就農者等育成事業費	300万円	担当：産業振興課

町の農業振興のため、出荷等の販売を目的に営農している認定農業者及び認定新規就農者に対して営農上必要な経費の一部を助成して支援します。

【継続】

遊休農地解消総合対策事業費	264万円	担当：産業振興課

遊休農地の有効活用を図るため、遊休農地を活用して新たな取組にチャレンジする方を対象に、助成金を交付して支援します。

【一部新規】

有害鳥獣駆除実施費	1,340万円	担当：産業振興課

猪や鹿などによる農作物被害の軽減を図るため獣害防止用防護柵の設置に対する支援を行うほか、令和５年度からは、ハクビシンやタヌキなどの小動物も駆除対象として追加します。さらに、猟友会の免許取得及び狩猟者登録費用等に対しても助成を行います。

【継続】

集落支援総合対策事業費	580万円	担当：産業振興課

地域農業の活性化を図るため集落支援員を委嘱し、農産物直売所を拠点とした販路拡大などの支援のほか、農地を猪や鹿などから守るための対策として行う防護柵設置に対するアドバイスなどを行い、集落支援を図ります。

【一部新規】

森林環境譲与税運用事業費	2,306万円	担当：産業振興課

国から交付される森林環境譲与税を財源に、秩父地域森林林業活性化協議会集約分科会と連携し、森林経営管理権の集積業務を行うほか、木製おもちゃや小物、木育冊子の購入など、木材利用と木育の推進を図ります。また、令和７年度に開催される全国植樹祭に向け、植樹予定地の整備などの準備も行います。

【一部新規】

森林管理道改良事業費	9,000万円	担当：産業振興課

森林管理道の改良を行う費用です。令和５年度は、森林管理道柏沢線上柏沢橋の改修事業のほか、森林管理道藤指線などの改良工事を実施します。

○森林管理道柏沢線上柏沢橋補修工事

森林管理道柏沢線に架かる上柏沢橋は、老朽化が進んでいるため、安全に通行ができるよう、改修工事を行います。

○森林管理道藤指線改良工事

森林管理道藤指線は、令和元年の台風１９号により法面が削られ、一部路面が浮いている状態であるため、安全に通行ができるよう、改良工事を行います。

○森林管理道日蔭入線改良工事

森林管理道日蔭入線は、令和元年の台風１９号により法面が削られ、一部路面が浮いてしまっている状態であるため、安全に通行ができるように、改良工事を行います。

○森林管理道大谷線改良工事

森林管理道大谷線は、定期点検の際に法面が削られた状態であることが確認されたため、安全に通行ができるよう、改良工事を行います。

商工業の振興及び起業・就労支援

商工業については、商店街の魅力向上のため、既存団体と協働して「地域の稼ぐ力」を高めます。企業支援としては、ＩＴ化など時代のニーズに即した業態転換への支援を積極的に行うほか、定住促進を積極的に行うためにも重要な就労の場の確保に向け、起業・創業への支援も行います。

【継続】

企業支援事業費	471万円

担当：産業振興課

経営革新計画承認企業に対して奨励金を交付するほか、町内にある建物を活用して創業する場合の、建物工事費用の一部に対しても補助金を交付して支援します。また、引き続き水道大口利用事業者に対して料金の一部を補助します。

【継続】

中小企業資金対策費（貸付金利子補給金）	180万円

担当：産業振興課

西秩父商工会を通じ、日本政策金融公庫から借り入れをしている企業及び個人に、その借入に対する年利子支払額の１５％の補助を行い、経営を支援します。

【一部新規】

商工関係団体等補助金	845万円

担当：産業振興課

商店街の活性化のため、シルクロード商店会や七夕フェスティバル実行委員会に対して活動費の一部を補助するほか、西秩父商工会の運営費の一部に対しても補助金を交付して支援します。また、町内で利用できる新たな商品券の開発に対しても補助金を交付して、町の商工業の発展に寄与します。

【一部新規】

地域商社事業費（一部）	3,482万円

担当：地域商社推進室

地域経済の活性化を推進する母体として、令和３年６月に設立された「株式会社地域商社おがの」の運営に対して支援を行います。令和５年度は、県の補助金を活用して、地域商社が指定管理として運営している両神温泉薬師の湯の高付加価値化に向けた事業検討に取組み、施設の魅力向上を図るとともに、地域産業の活性化を図ります。

地域商社おがの事務所の様子

【継続】

特定地域づくり事業費	1,210万円

担当：地域商社推進室

移住者や町内出身者等を採用して、地域商社や振興公社をはじめとした組合員の事業所へ人材派遣を行う「小鹿野町特定地域づくり協同組合」に対して補助金を交付して運営を支援します。

観光の振興

観光については、歴史と自然を生かした「花と歌舞伎と名水のまち」を更に推進するとともに、新たな資源を活かした観光振興を図ります。

【継続】

観光協会補助事業費	500万円

担当：まちづくり観光課

小鹿野町観光協会で行っている観光カレンダーや春まつり、鉄砲まつりなどのポスター作成、観光協会のホームページによる町の観光情報の発信、ちょこっともてなし隊の活動への支援事業などへ補助金を交付して観光振興を図ります。

【一部新規】

観光総務費	1,780万円

担当：まちづくり観光課

町の観光ＰＲを進めるため、観光協議会等への加入や観光振興団体に補助金を交付して支援します。令和５年度は、施設の高付加価値化に伴う、町内民間事業者が国の補助金を受けて実施する改修事業に対して、街なみ景観整備事業として補助金を交付し、商店街をはじめとした面的景観整備を推進します。また、地域活性化企業人を活用して、観光事業の活性化を図ります。

【継続】

両神山麓花の郷ダリア園支援事業費	188万円

担当：まちづくり観光課

「色とりどりのダリアが咲き誇る山峡の花園」として、町を代表する観光名所となっている両神山麓花の郷ダリア園は、時期には約３５０種類、５，０００株のダリアが観光客をはじめとした多くの方の眼を楽しませています。

今後も多くの方に訪れていただけるよう、ダリア園の運営や維持について支援します。

【継続】

ふるさとまつり開催事業費	600万円

担当：まちづくり観光課

ふるさとまつりは、ふるさとを離れ生活している人達や、都会に住む人々が、地域住民とあい集い共に楽しみ、共に語り合い、心の触れ合うふるさとづくり、魅力ある地域づくりの進展に寄与することを目的に旧両神村で始まりました。新型コロナウイルス感染症の影響から、令和元年度の開催を最後に中止しておりますが、令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が２類から５類へと移行されたこともあり、４年ぶりの開催に向け計画しています。

令和元年度に開催した時の
ふるさとまつりの様子

【一部新規】

温泉館施設管理費	8,000万円

担当：まちづくり観光課

「両神温泉薬師の湯」の管理運営を行う費用です。両神温泉薬師の湯や両神農林産物直売所などの「道の駅両神温泉薬師の湯」の管理運営は、株式会社地域商社おがのが指定管理者として行っています。

令和５年度は、道の駅の活性化や地域の拠点施設としてより一層、魅力のある施設となるよう、国の補助金を活用した温泉館のリニューアル改修を計画しています。

【一部新規】

自然公園等維持管理費	1,713万円

担当：まちづくり観光課

両神山を中心とした秩父多摩甲斐国立公園や四阿屋山を中心とした両神国民休養地のほか、丸神の滝や二子山など小鹿野町自然公園内の維持管理、甲武信ユネスコエコパークの推進などを行います。令和５年度は、日向大谷公衆便所受水槽ポンプ設置工事を行うほか、新たに「自然環境保全管理員」を設置します。

【一部新規】

おがの化石館維持管理費	1,038万円

担当：生涯学習課

おがの化石館の維持管理を行う費用です。令和５年度からは、所管を教育委員会へと移管し、古秩父湾時代の資料を中心に展示する施設へとリニューアルを計画しています。観光の要素だけでなく学術的な要素も取り込んだ魅力的な施設となるよう改修します。

３　かがやく未来へ　おがの人づくり

幼児教育・保育・学校教育の充実

幼児教育・保育及び学校教育については、伝統文化や地域の人々との交流を通じて、まちの将来を担う子どもたちが、ふるさとの良さを実感し町に貢献しようとする「郷土小鹿野に根ざした人づくり」を進めます。

【継続】

おがの保育所運営関連事業	14,470万円

担当：こども課

０歳（８か月）から２歳児の保育を行う「おがの保育所」の管理運営を行う費用です。また、こども園分も含めた乳幼児及び園児に対する給食を提供しています。

【継続】

こども園運営関連事業	11,194万円

担当：こども課

３歳児から５歳児の保育・教育を行う幼保連携型認定こども園「おがのこども園」の管理運営を行う費用です。

【継続】

学校教育支援事業費	8,171万円

担当：学校教育課

学習指導員や生活指導補助員、ＩＣＴ支援員等を配置して、各学校や個々の児童・生徒の実態に応じたきめ細やかな教育の推進を行います。また、複式学級に対応した学習指導員を配置することで、更なる教育環境の充実を図ります。

【継続】

小中学校英語指導助手派遣費	843万円

担当：学校教育課

小学校や中学校、こども園などへ外国語指導助手（ＡＬＴ）を派遣し、園児、児童及び生徒のグローバル社会への対応力を養います。外国語（英語）の授業が小学校３・４年生を対象に必修化、５・６年生を対象に教科化されたことから、さらにＡＬＴを活用した授業を充実させ、児童・生徒の語学力の向上を図ります。

オーストラリアとのテレビ電話の様子

【一部新規】

学校施設整備費	15,755万円

担当：学校教育課

学校施設の改修整備を行う費用です。令和５年度は、小鹿野小学校の校庭改修工事や教室照明のＬＥＤ化工事、小鹿野中学校校門フェンス設置工事のほか、旧倉尾小学校校舎及びプールの解体工事を行います。

【継続】

小鹿野未来塾開催費	448万円

担当：学校教育課

小中学生等の学習習慣の確立や学力向上、『親子共学』の気運の醸成を目指し、地域の民間塾や小鹿野高校の先生、教員ＯＢを講師として講座を実施します。町内在住の小中高生、一般町民、小鹿野高校生を対象とした英検・漢検講座を各５回、中学生対象の中学生未来塾を１４回、小学校から６年生を対象とした小学生科学不思議講座を４回実施する予定です。未来塾受講生の英検・漢検に対して、検定料の助成も行います。

【継続】

学校給食センター運営関連事業	7,148万円

担当：学校教育課

学校給食センターで行う給食調理や施設維持などの管理運営を行う費用です。学校給食衛生管理基準に基づき、安心安全な学校給食を提供するため、給食センターの管理及び修繕等を行っています。

学校給食センターで調理した給食は、町立小中学校５校のほか、山村留学で小鹿野高校へ通学している生徒に対しても提供されています。

【新規】

学校統合事業費	96万円

担当：学校教育課

令和７年度の小学校統合に向けた子ども達の交流事業を行います。また、統合に向けて準備するため、各種会議などを開催します。

生涯学習・芸術・文化活動の充実

生涯学習（芸術・文化を含む）については、多様化する町民のニーズを的確に捉えた学習機会を提供していくとともに、幅広い世代の学びをとおして地域を引っ張っていくリーダー的人材の育成を推進します。

【一部新規】

文化センター維持管理費	2,439万円

担当：生涯学習課（中央公民館）

文化センターの維持管理を行う費用です。同施設は生涯学習施設として、講座や教室、研修などで多くの方が利用していますが、老朽化している箇所があるため計画的に改修をしています。令和５年度は、昨年度に引き続き、調理室のガス器具の改修を行います。

【一部新規】

総合会館維持管理費	2,198万円

担当：生涯学習課（両神公民館）

両神ふるさと総合会館の維持管理を行う費用です。同施設では、各種講座を開催しているほか、町立図書館も設置され業務を行っております。令和５年度は、２階図書スペース及び事務室の空気調和機の入替工事を実施します。

【一部新規】

指定文化財管理費	1,977万円

担当：生涯学習課

札所三十二番般若山法性寺

個人や地域が所有する文化財の管理保護に対して奨励金や補助金を交付して文化財の保護を図っています。昨年度に引き続き、飯田八幡神社空砲奉納者後継者養成事業や長留宗吾神社の舞殿保存修理事業に補助金を交付するほか、令和５年度は、札所三十二番般若山法性寺山門（鐘楼門）保存修理事業に対して新たに補助金を交付し文化財保護に努めます。

【一部新規】

歌舞伎のまちづくり事業費	1,848万円

担当：生涯学習課

小鹿野歌舞伎は町を代表する伝統芸能であり、小鹿野文化センター内にある小鹿野歌舞伎さろんにおいて衣装等の常設展示を行っています。また、「義太夫」の後継者育成事業などに対して補助金を交付するなど、伝統芸能の伝承に努めています。令和５年度は、歌舞伎・郷土芸能祭を開催するほか、歌舞伎俳優である尾上松也さんを招致して町民歌舞伎劇場を開催します。

スポーツ・レクリエーションの充実

町民がいつまでも健康で活き活きと暮らすことができるよう、ライフスタイルに合わせたスポーツ・レクリエーションの普及・促進を図ります。

【一部新規】

ロードレース大会開催費	245万円	担当：生涯学習課

昨年度はコロナ禍の中ではありましたが、３年ぶりに小鹿野ロードレース大会を開催することができ、多くのランナーが新コースを走りました。令和５年度も、盛大に開催できるよう計画しています。

【継続】

スポーツ振興費	451万円	担当：生涯学習課

町民の健康づくりと生涯スポーツの推進を図るため、スポーツ少年団やスポーツ協会に助成を行い育成に努めます。また、地区運動会実施費用に対しても補助金を交付し、スポーツを通じての健康づくりを推進します。

【一部新規】

体育館維持管理費	340万円	担当：生涯学習課

町内の各体育館と両神剣道場の維持管理を行う費用です。町営体育館はスポーツ協会やスポーツ少年団等の各種団体のほか、合宿で訪れた団体など、多くの方に利用されていますが、老朽化が進んでいる施設や備品を計画的に改修や更新を行っています。令和５年度は、老朽化している卓球台の更新を行います。

【継続】

クライミングによるまちおこし事業費（一部）	120万円	担当：まちづくり観光課

クライミングパーク神怡舘を拠点施設として、どなたでも気軽にクライミングに触れられるよう、クライミングを軸にしたまちおこし事業を展開します。

【継続】

神怡舘施設管理費・鳳鳴館施設管理費	2,159万円	担当：まちづくり観光課

クライミングパーク神怡舘及び鳳鳴館の施設運営を行う費用です。「クライミングによるまちおこし事業」の拠点施設として、ボルダリングやロッククライミングなどのクライミングスポーツの振興を図ります。また、鳳鳴館では山岳情報を発信しているほか、神怡舘利用者の休憩施設として利用されています。

人権の尊重と男女共同参画社会の実現

町民の人権意識の向上や人権教育を推進し、差別意識や偏見などによる人権侵害の抑制を図ります。男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進し、男女がお互いに支え合い、だれもが性別や年齢に関わりなくその個性と能力を十分に発揮でき、安心して生活できる社会の実現を目指します。

【継続】

人権施策推進事業費・人権教育推進事業費	90万円	担当：総務課・生涯学習課

人権標語や作文集の発行などにより、人権教育の推進を図るほか、人権教育推進協議会に対して補助金を交付して、年齢・性別・国籍など様々な人権問題の解消を図り、一人ひとりの人権を尊重し、温かい共生社会の実現を目指します。

県立小鹿野高等学校との協働

県立小鹿野高等学校の魅力化・活性化と地域創生を結びつけ、双方向の支援・協働体制の確立に向けて全町が一体となった取組を推進します。

【継続】

企画事務費（一部）	36万円	担当：総合政策課

小鹿野高校と連携して高校魅力化を推進します。町内唯一の公立高校の維持に向け支援します。

【継続】

小鹿野町山村留学支援事業費	420万円	担当：総務課

県が実施している山村留学制度を支援するため、山村留学生を支援しているＮＰＯ法人に対して補助金を交付し、小鹿野高校へ通学する山村留学生の学校生活の充実を図ります。

４　すべての世代に配慮された社会保障の充実

子どもから高齢者までの地域包括ケアシステムの充実

子どもから高齢者まで全世代を対象とした、元気で自分らしく暮らすことができるための社会保障の充実や、地域で福祉を支える意識の高揚を図り、豊かなコミュニティづくりなどを推進します。小鹿野中央病院と保健福祉センターを核とした地域包括ケアシステムの更なる充実を図り、保健・医療・福祉・介護サービスが切れ目なく、一体的に提供される体制を充実させ、関係機関の連携強化を図ります。

【一部新規】

けんこう交流館維持管理費	287万円	担当：保健課

けんこう交流館は、１階を社会福祉協議会の事務所として、２階は乳幼児健診や特定健診、予防接種などの事業で活用しています。２階へ上がる手段が階段しかなく、乳幼児を抱いた方や高齢者の方にとっては不便であるため、エレベーターの設置に向けた実施設計を行います。

【継続】

社会福祉事務費（一部）	48万円	担当：福祉課

民間事業者が行っている地域移動販売事業運営に対して、補助金を交付し支援しています。食料品等の購入が困難な地域を解消し、生活の利便性の向上を図ります。

【一部新規】

集落支援総合対策事業費	200万円	担当：福祉課・保健課

ひきこもり者への支援や倉尾地区を対象にした集落活性化事業等に従事する集落支援員配置に要する費用です。令和５年度は、ひきこもり者に対する支援員を１名増員し体制の強化を図ります。また、高齢者の運動を支援するため、新たに運動推進支援員を配置します。

ひきこもり講演会の様子

子育て支援の充実

子育て支援については、保健師や保育士などの専門職が連携し、妊娠から切れ目ない子育て支援を行うとともに、地域全体で子育て世代を支援する体制を強化します。

【継続】

母子保健費	1,001万円	担当：こども課

助産師を中心に、妊娠期から切れ目のない支援を実施します。不妊や不育症の検査費・治療費への助成や乳幼児健診をはじめ法定健診ではない５歳児への健診も実施します。また、子育て支援の動画やチラシの作成等を行い、ＩＣＴと紙媒体の双方で情報発信をすることで、より一層のＰＲを推進するとともに、子育て世代の定住促進を図ります。

ほっとママステーション

キッズスペース

【継続】

子育て支援センター運営関連事業	1,302万円	担当：こども課

子育て支援センターの運営を行う費用です。専任の保育士が常駐し、子育て家庭が抱える育児不安等に対しての相談や子育てサークルなどへの支援を行い、子育て環境の充実を図ります。

【一部新規】

伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金給付事業費	300万円	担当：こども課

妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る出産・子育て応援給付金を支給します。

【継続】

子育て支援金給付事業費	615万円	担当：こども課

子育て支援金を給付して、町の宝である次世代を担う子どもの健全育成と子育て家庭の経済的負担軽減を図ります。第１子及び第２子の出産には５万円を、第３子以降の出産には５年間に分けて５０万円（初年は１５万円、２～４年は１０万円、５年は５万円）を給付します。

【継続】

義務教育支援事業費	3,802万円	担当：学校教育課

児童及び生徒に対する給食費と教材費の無料化を継続し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て世帯への支援を行います。

【継続】

放課後児童対策事業費 民間放課後児童対策事業費	4,785万円	担当：こども課

町営の両神学童保育室の運営と民間の学童保育室４箇所の運営委託を行う費用です。学童保育室は各小学校区ごとに設置されており、子どもの遊びや生活の支援を通して、健全な育成を図ることで、子育て世帯を支援します。

両神学童保育室の活動風景

【一部新規】

プレーパーク事業費 みどりの村関連施設管理運営費	860万円	担当：こども課 まちづくり観光課

子どもの遊び場を提供するプレーパーク事業は、みどりの村を会場として進めており、子どもたちの自主性や冒険心、想像力を育むよう、開催する時期毎にテーマを決め開催しています。お子様連れの来園者の交流の場には、「みどりの交流館」などを活用しています。令和５年度は、みどりの交流館や若者センターなど、みどりの村関連施設の維持管理運営について、指定管理者制度を導入します。

高齢者福祉の充実

高齢者福祉支援については、増加する介護需要に対応できるよう、福祉サービスの安定的な供給に努めるとともに、高齢者自身が地域づくりの担い手として生きがいをもちながら、健康で暮らすことができる環境づくりを進めます。

【継続】

敬老会開催費	115万円	担当：福祉課

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度以降は中止となっておりましたが、令和５年度は、４年ぶりの開催に向け準備しています。今までは２日間で開催していましたが、招待人数を限定し１日で開催する形で計画しています。

令和元年度に開催した敬老会の様子

【一部新規】

秩父荘管理委託費・秩父荘管理費	9,610万円	担当：福祉課

町は、養護老人ホーム秩父荘の管理運営を小鹿野福祉会に委託しています。秩父荘は、老朽化しているため改修工事が必要となっています。令和５年度は、トップライトガラスの取替工事を行います。また、空調設備の改修工事に向けた設計業務を行います。

【一部新規】

町社会福祉協議会補助金	3,035万円	担当：福祉課

社会福祉協議会は、地域住民が主体となって地域福祉の推進を図るため組織的活動を行うことを目的とする組織です。町は、協議会に補助金を交付して運営を支援しています。

【継続】

シルバー人材センター運営費補助金	800万円	担当：福祉課

シルバー人材センターは、高齢者の就労支援・社会参加を促し地域の発展に寄与することを目的とした団体です。町は、シルバー人材センターに補助金を交付して運営を支援しています。

障害者福祉の充実

障害者福祉については、障害者が活き活きと生活できるまちを目指し、障害のある人もない人も身近な地域で共に支え合う共生社会の実現に向けた取組を推進します。

【継続】

精神障害者共同作業施設費	1,205万円	担当：保健課

障害のある方が社会とのつながりを持ちながら、安定して療養生活が継続できるように支援するための、ふれあい作業所の運営に係る費用です。

【継続】

障害者総合支援事業費・障害者地域生活支援事業費・障害者等生活支援事業費	43,992万円	担当：福祉課

障害のある方の医療費や福祉サービス利用料、福祉用具購入費などを助成して、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援します。また、１市４町で設置している基幹相談支援センターの運営についても支援します。

【継続】

重度心身障害者医療費	3,766万円	担当：福祉課

重度の障害がある方の福祉の増進を図るため、医療費を助成します。

保健・医療の充実

健康づくりについては、健康寿命の延伸に向けて正しい食生活習慣、運動習慣の普及に努めるとともに、地域ぐるみで進める支え合いの健康対策を促進します。医療については、国保町立小鹿野中央病院を核とする地域医療体制の安定的な運営に努めます。

【継続】

健康指導費	582万円	担当：保健課

いつでも健康相談委託事業、自殺対策、こころの健康づくり事業、熱中症予防対策、地域や個別の健康指導など保健活動を実施するほか、県が実施しているコバトン健康マイレージ事業を推進します。

【継続】

小児予防接種費・予防接種費	2,360万円	担当：保健課

受験を控えた中学３年生や高齢者を対象にインフルエンザワクチンの予防接種を行うほか、乳幼児に対して麻疹風疹や日本脳炎などの予防接種法に基づく定期接種を行い、町民の免疫水準の維持を図ります。

【継続】

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業	4,330万円	担当：保健課

新型コロナウイルスワクチン接種については、５類へ移行後も継続して行われ、春開始接種では、６５歳以上の方、５歳以上６４歳以下の方で基礎疾患またはその他重症化リスクがあると医師が認めた方及び高齢者施設や医療関係の従事者の方を対象に、希望に応じてワクチン接種を実施します。また、５歳以上の全ての方を対象とした秋開始接種も予定しています。

【継続】

検診費	837万円	担当：保健課

特定健診や人間ドック、がん検診等に対して助成を行い、受診率を向上させ疾病予防や早期発見に繋げるとともに、医療費の削減や健康寿命の延伸を図ります。

【継続】

病院事業負担金	25,288万円	担当：保健課

国保町立小鹿野中央病院は、地域の中核病院であるとともに地域包括ケアの中心となる施設です。今後も地元医師会と連携して、安定した診療体制を確保するとともに、地域に親しまれ信頼される病院を目指します。

５　快適で安心して暮らせる環境の整備

地域整備と公共施設の有効活用

自然豊かな町・小鹿野の魅力を活かしたまちづくりを進めるうえで、秩序ある土地利用が不可欠です。計画的に地籍調査を行っていくことで、土地利用の円滑な推進を図ります。

【一部新規】

地籍調査事業費	5,446万円	担当：建設課

円滑な土地利用の推進を図るため、国土調査法に基づく地籍調査を行う費用です。
令和５年度は、小判沢地区１．０２㎢の現地調査や、津谷木地区０．４９㎢の地籍図、地籍簿の作成、認証登記を行います。

道路・公共交通

道路・公共交通については、町民の通勤・通学や生活の利便性を向上させるため、道路の改良を計画的に進めてまいります。

【継続】

過疎バス対策費・町営バス運行費	7,332万円	担当：まちづくり観光課

民間事業者が運行する志賀坂線及び倉尾線の運行に対して、路線を維持するため補助金を交付し支援するほか、西武秩父駅から両神温泉薬師の湯間などで町営バスを運行します。また、７７歳以上の方はこれらの路線について優待券を取得することにより無料でご利用いただけます。（優待券は、まちづくり観光課窓口で受付を行い、後日郵送でご自宅へ送付します）

【継続】

地域公共交通確保対策費	800万円	担当：まちづくり観光課

民間事業者が、小鹿野・下小鹿野・伊豆沢・長若地区の地域内及び両神地区の一部地域において運行している乗合タクシーの運行費に対して補助金を交付して支援することで、町民の生活手段の確保に努めます。なお、ご利用には事前登録が必要です。

【一部新規】

道路メンテナンス事業費	4,200万円	担当：建設課

国の補助金を活用し、町が管理する橋梁及びトンネルの点検を実施します。町道７０４号線合角漣大橋外３４橋と観音山トンネル外３トンネルの定期点検を実施するとともに、町道３８０号線日向橋の修繕工事を実施します。

町道３８０号線日向橋

【一部新規】

町単独道路整備事業費 社会資本整備総合交付金事業費	16,890万円	担当：建設課

町道の舗装や改良、維持管理を行う費用です。毎年度、地元からの要望等により改良工事等を実施しています。令和５年度は、町道９１号線（小鹿野小学校脇）の測量設計業務を行うほか、町道１１７号線（腰ノ根地区）の拡幅事業や町道７０２号線（岩殿沢地区）の舗装工事など９路線の舗装及び改良工事を実施します。

９路線の事業詳細は以下のとおりです。

○町道７０２号線舗装工事

飯田岩殿沢地区を通る町道７０２号線は、経年劣化により舗装が痛んできていることから、舗装打替工事を行います。

○町道７００号線道路維持工事

三山大指地区を通る町道７００号線は、法面の立木が道路に覆い被さってきており危険であることから、立木伐採工事を行います。

○町道５２号線舗装工事

下小鹿野三島地区を通る町道５２号線は、未舗装であることから、アスファルト舗装を行います。

○町道１１７号線改良工事

小鹿野腰ノ根地区を通る町道１１７号線は、道幅が狭く歩行者と車両がすれ違う際などに危険であることから、拡幅工事を行います。

○町道８９号線歩道整備工事

小鹿野原町地区を通る町道８９号線は、通学路安全総点検に基づき、歩車道境界ブロックの新設工事を行います。

○町道４２号線舗装工事

下小鹿野信濃石地区を通る町道４２号線は、経年劣化により舗装が痛んできていることから、舗装の打替工事及び側溝新設工事を行います。

○町道４３号線舗装工事

下小鹿野信濃石地区を通る町道４３号線は、経年劣化により舗装が痛んできていることから、舗装の打替工事及び側溝新設工事を行います。

○町道１７１号線改良工事

下小鹿野泉田地区を通る町道１７１号線は、道幅が狭く未舗装であることから、拡幅工事を行います。

○町道１７８号線側溝整備工事

伊豆沢地区を通る町道１７８号線は、経年劣化により側溝が痛んでいることから、側溝の入替工事を行います。

生活環境の充実

生活環境については、河川の水質保全を図るため合併処理浄化槽の普及に努めます。また、町ぐるみでごみの減量化や資源のリサイクル化に取り組みます。

【一部新規】

環境衛生推進費	60万円	担当：住民生活課

町民が健康で安心安全な生活空間を保てるように、環境保全や道路上にある動物の死骸回収を実施するほか、職員等によるごみゼロクリーン作戦を実施して、環境意識の向上を図ります。

【一部新規】

衛生センターし尿収集運搬費	2,622万円	担当：住民生活課

町内から搬入される、し尿、浄化槽汚泥及び生活雑排水の収集及び運搬を行う費用です。令和５年度から、衛生センターの処理業務は、秩父広域市町村圏組合で行う事務となり、町では収集と運搬を行うこととなります。

安心・安全対策

安心・安全対策については、近年、大型台風や集中豪雨、豪雪などの自然災害による被害を受けていることから、防災対策と体制の強化に努めます。また、観光客の増加や町民の生活様式の変化等に応じた交通安全対策や防犯対策を進めます。

【一部新規】

急傾斜地崩壊対策事業費	496万円	担当：建設課

埼玉県が事業主体となり実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して町から負担金を支出します。令和５年度は、両神地内の大塩野地区及び薬師堂地区の対策工事を実施するほか、新たに倉尾地内の日尾和田地区の調査及び設計業務を行います。

【一部新規】

防火水槽等新設費	650万円	担当：総務課

火災の際、消火活動の為に必要な施設である防火水槽を建設する費用です。地元分団より要望を受け、必要な箇所に新設しています。

令和５年度は、要望書が提出されている小鹿野地内に１基建設します。

長若地内に建設した防火水槽

【一部新規】

消防施設維持管理費	694万円	担当：総務課

安心・安全な生活に必要な組織である消防団が、活動拠点として使用する詰所などの維持管理を行う費用です。

令和５年度は、平成２８年度の分団統合により使用しなくなった旧第５支団第２分団詰所の解体撤去工事を行います。

【一部新規】

防災通信システム維持管理費・ 防災行政無線維持管理費	2,454万円	担当：総務課

防災情報などを町民の皆様に確実に伝達するため防災行政無線を整備し、維持管理しています。令和５年度は、役場新庁舎付近へ屋外拡声子局を整備し、周辺住民の安心安全の向上を図ります。

【新規】

地上デジタルテレビ対策事業費	258万円	担当：総合政策課

地上デジタルテレビ放送の難視聴地域の共聴組合が負担している辺地共聴施設の維持管理に要する経費の一部に対して、組合間の費用負担の格差の是正を図るため補助金を交付して支援します。

【一部新規】

消防団員報酬	2,490万円	担当：総務課

小鹿野町消防団に所属する団員に対して、階級毎に報酬を支給します。令和５年度からは、年額報酬のほかに、火災をはじめとした災害に出動した際の出動報酬についても支給します。

６　その他の取組

【新規】

埼玉県知事選挙執行費	976万円	担当：総務課

任期満了（令和５年８月３０日）に伴う埼玉県知事選挙の執行が予定されています。

【一部新規】

電子計算機管理運営費	8,978万円	担当：総合政策課

役場などで使用している情報システム等の維持管理をする費用です。令和５年度は、役場庁舎と他の公共施設を結ぶテレビ会議システムや電子申請等ができるＬｏＧｏ（ロゴ）フォームを導入し、申請手続き等のデジタル化の推進を図ります。

【一部新規】

固定資産現況調査委託費	1,552万円	担当：税務課

適正な課税を行うため、住宅用地の画地計測や現況地目の調査等を行う費用です。令和５年度は、航空写真撮影事業を行います。

【一部新規】

住民基本台帳関係事務費	1,131万円	担当：住民生活課

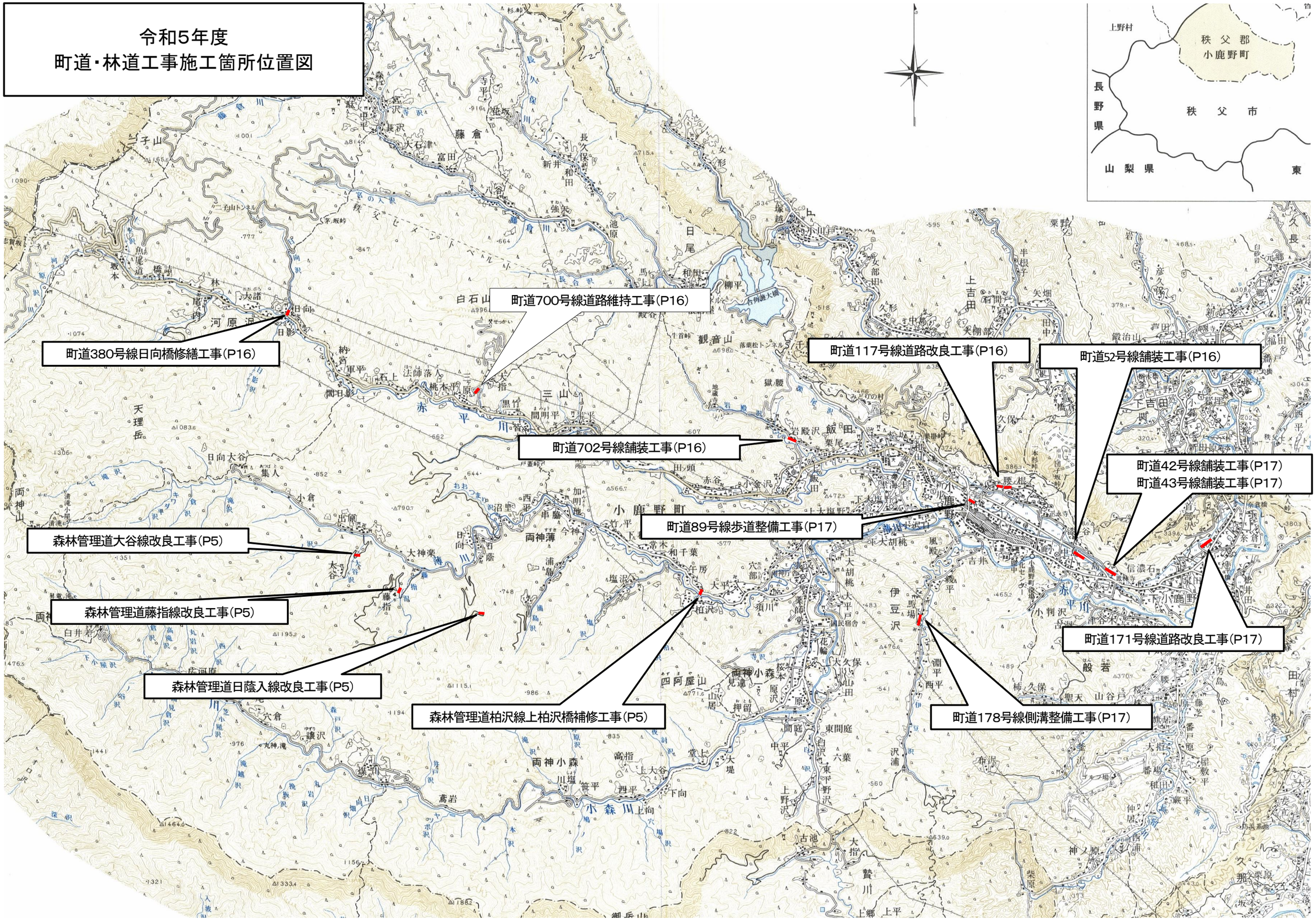
住民票や印鑑証明などの証明書等を発行する窓口業務全般の費用です。令和５年度は、マイナポータルを通じたオンライン転出及び転入手続きの窓口予約が可能となる引越しワンストップ支援サービスを導入します。

７　秩父広域市町村圏組合への負担金等

秩父広域市町村圏組合は、秩父地域の１市４町における１１事業を共同処理しており、各事業の負担割合等に応じて、各市町から負担をしています。

種 別	担 当 課	内 容	科 目	金 額 （ 万 円 ）
一般管理費	総合政策課	議会・総務業務についての負担金です。	負担金	1,872
介護認定審査会費	福祉課	介護認定審査会についての負担金です。（介護保険特別会計）	負担金	658
自立支援審査会費	福祉課	自立支援審査会についての負担金です。	負担金	148
結核予防費	保健課	結核予防にかかるエックス線検査についての負担金です。	負担金	228
循環器検診費	学校教育課	児童生徒の循環器検診についての負担金です。	負担金	68
救急医療施設費	保健課	救急医療施設についての負担金です。	負担金	693
斎場費	住民生活課	秩父斎場の火葬業務についての負担金です。	負担金	1,542
清掃費（ごみ）	住民生活課	秩父クリーンセンターと秩父環境衛生センターのごみ処理業務についての負担金です。	負担金	7,145
清掃費（し尿）	住民生活課	小鹿野し尿処理センターのし尿及び浄化槽汚泥の処理業務についての負担金です。	負担金	10,466
消防費	総務課	常備消防の業務についての負担金です。	負担金	26,205
水道事業	総務課	消火栓の設置や維持管理についての負担金です。	負担金	433
	住民生活課	水道事業についての負担金及び出資金です。 水道料金が統一されたことに伴う激変緩和措置を実施するほか、水道局において実施する広域化や運営基盤強化の国庫補助事業に対して、繰出基準に基づく出資を行います。	負担金	4,192
			出資金	16,114
			合　計	69,764

令和5年度
町道・林道工事施工箇所位置図



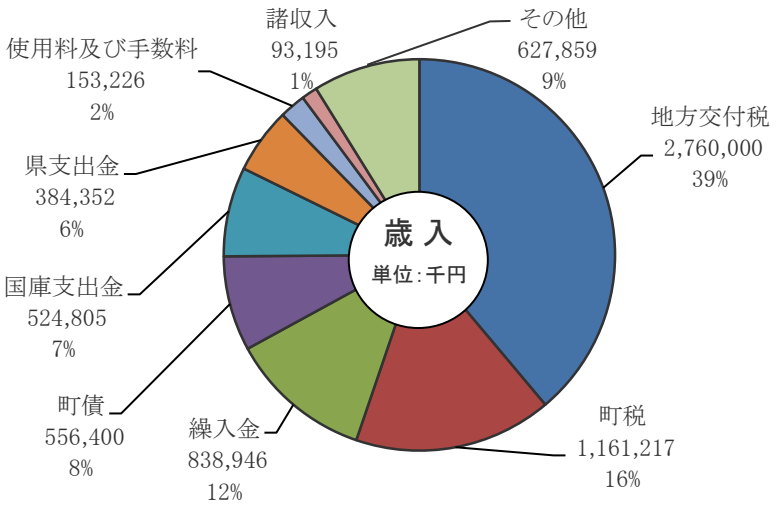
令和５年度小鹿野町予算の概要

全会計予算規模

会　　計　　名	予　　算　　額	前年度対比
一般会計	７１億円	△７．５％
国民健康保険特別会計	１４億９，９５０万７千円	４．１％
後期高齢者医療特別会計	３億　８６０万６千円	２．３％
介護保険特別会計	１６億５，１８８万６千円	△１．３％
浄化槽設置管理等特別会計	１億６，７４０万円	５．９％
病院事業会計	１７億１，６３３万２千円	９．９％
国民宿舎事業会計	４億４，２３９万７千円	８５．６％
合　　計	１２８億８，６１２万８千円	△１．２％

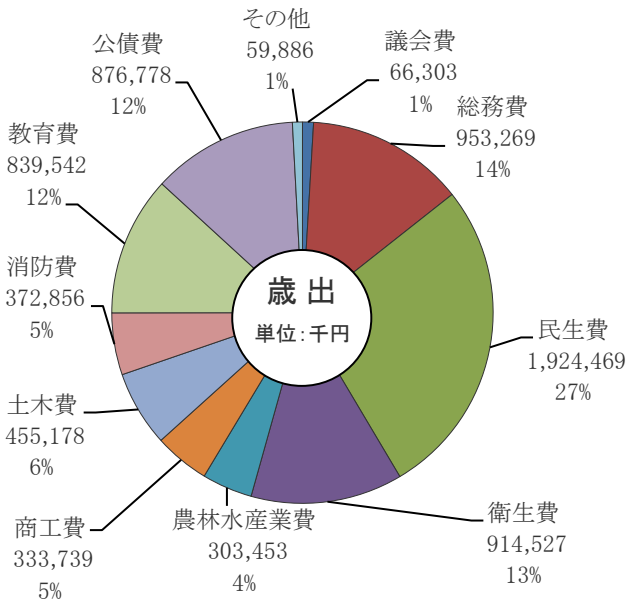
一般会計歳入歳出予算構成比

歳　入

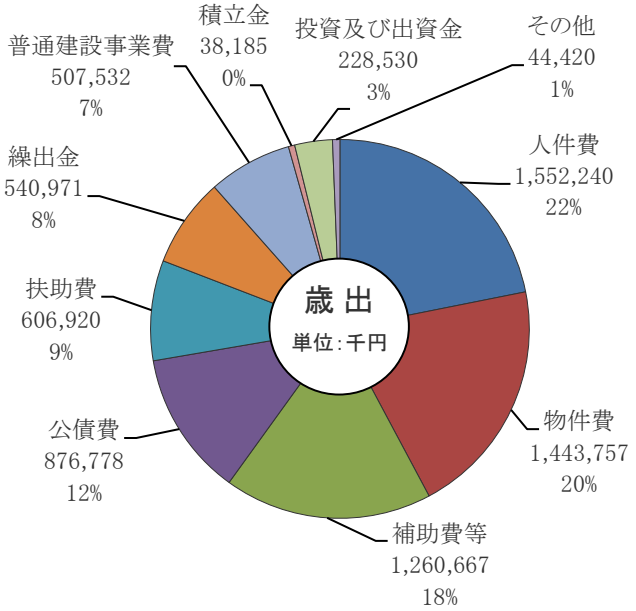


歳　出

目的別



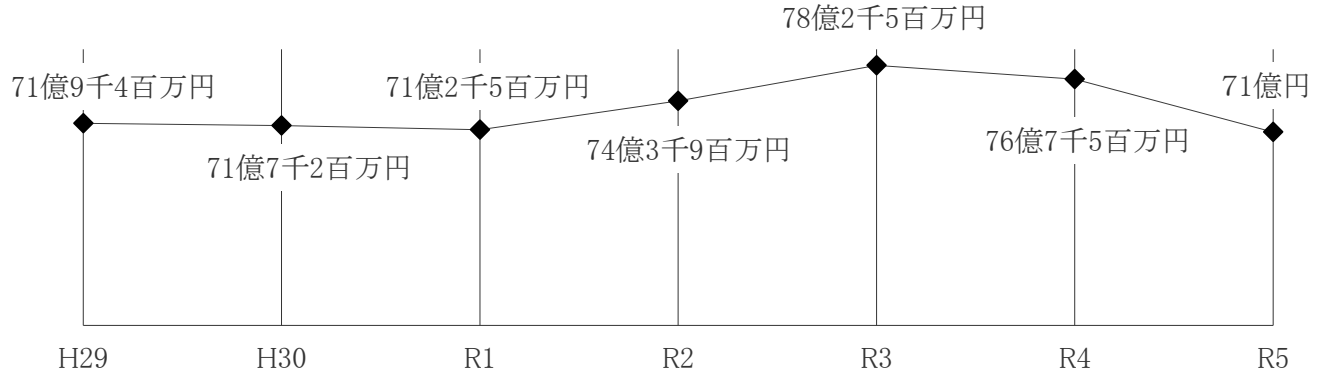
性質別



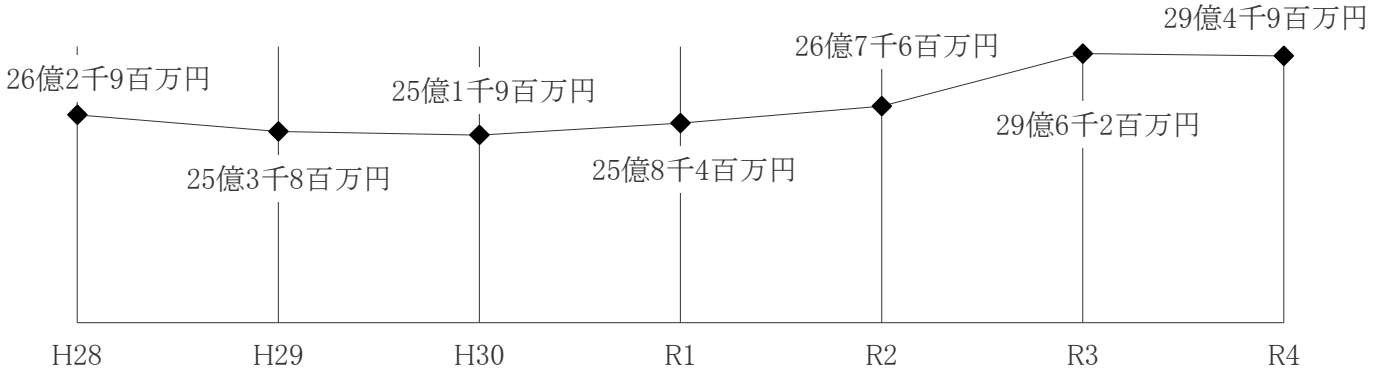
※構成比はそれぞれ四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

資料編

１　一般会計当初予算の推移

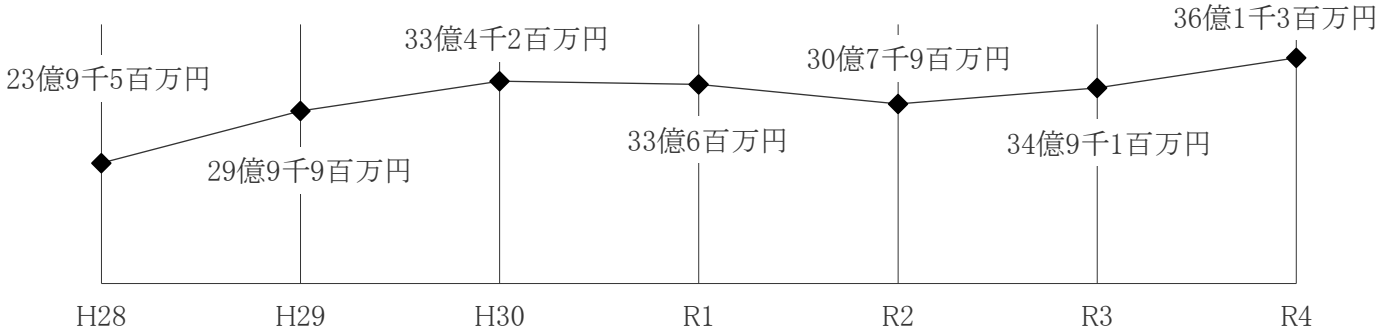


２　普通交付税の推移



※R4は決算見込みです

３　基金（貯金）残高の推移

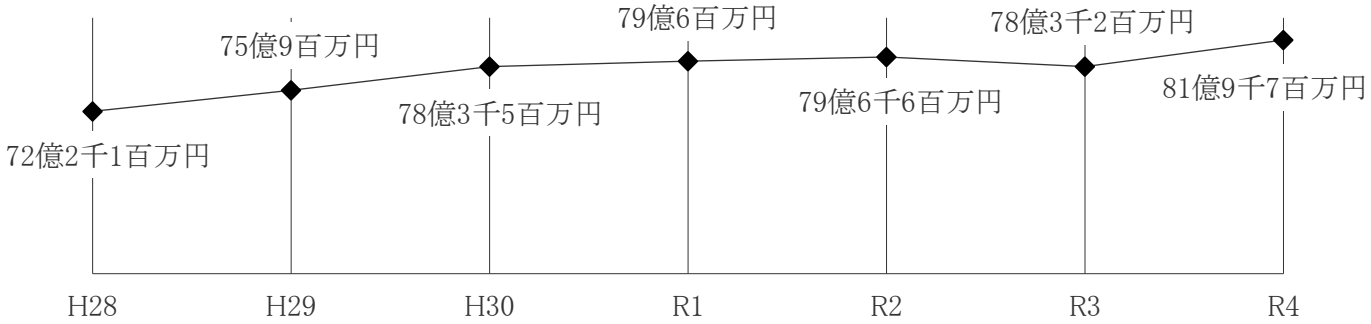


※R4は決算見込みです

令和３年度末の基金の内訳

基金	残高	基金の使い道
財政調整基金	13億7千9百万円	歳入が不足する場合の財源
減債基金	8億8千4百万円	地方債の償還の財源
地域振興基金	8億6千4百万円	新町建設計画に基づき、地域振興を図るための事業の財源
土地取得基金	1億2千4百万円	公共用地取得のための財源
その他	2億4千万円	社会福祉施設整備基金、ふるさと応援基金、過疎地域自立促進基金 等
合計	34億9千1百万円	

４　地方債（借金）残高の推移



※R4は決算見込みです

起債の種類	残高	元利償還金に対する地方交付税による措置率	起債全体に対する割合	備考
臨時財政対策債	29億1千4百万円	100%	37.2%	地方債全体の約９割が国の交付税制度に基づき、元利償還金に対して高い措置率で町に交付されています。
辺地対策事業債	1千7百万円	80%	0.2%	
減税補てん債	9百万円	75%	0.1%	
合併特例債	28億6千5百万円	70%	36.6%	
過疎対策事業債	6億9千3百万円	70%	8.9%	
緊急防災・減災事業債	3億7千1百万円	70%	4.7%	
出資債	6億1千7百万円	50%	7.9%	
その他	3億4千6百万円	－	4.4%	
合計	78億3千2百万円	－	100.0%	

５　財政指標

区　　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	判断基準
財政力指数（３か年平均）	０．３４	０．３３	０．３２	高い方が良い
経常収支比率　（%）	８７．９	８５．６	８７．５	低い方が良い
実質公債費比率　（%）	８．２	８．３	８．３	低い方が良い
将来負担比率　（%）	２９．７	４３．５	２４．９	低い方が良い

※用語解説

財政力指数	標準的に係る経費に対する自主的な収入割合で、指数が高いほど財源に余裕があることになります。いわゆる交付税不交付団体は、この数値が1.0を超えている団体です。
経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する比率で、指数が低いほど弾力性があることになります。経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、経常的に収入される一般財源（経常一般財源）などに占める割合です。
実質公債費比率	標準的な財政規模に占める元利償還金等（公営企業会計に対する繰出金のうち公債費に当たるものも含みます。）の割合で、18%を超えると地方債の発行に許可が必要となります。
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき債務（公営企業会計・一部事務組合等・地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを示しています。

６　使途の明確化が必要な財源の充当

１　令和5年度までの措置として、東日本大震災からの復興を目指し個人住民税に500円加算した分、合計2,774千円は、「款8消防費・項1消防費・目4防災費」へ充当します。

２　入湯税は、環境衛生施設・鉱泉源の保護管理施設・消防施設その他消防活動に必要な施設整備・観光の振興に要する費用に充てるために課税されているものです。
令和5年度分の4,501千円は、「款6商工費・項1商工費・目3観光費」へ充当します。

３　消費税率改定に伴う地方消費税交付金の増加額1億2,100万円は、下記の「令和5年度当初予算地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費」へ充当します。

令和5年度当初予算地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

【歳入】　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　121,000　千円
【歳出】　社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　1,661,940　千円

（単位：千円）

事業区分		経費	財源内訳			一般財源	
			国県支出金	地方債	その他	社会保障財源分の地方消費税交付金	その他
社会福祉	社会福祉事業（社会福祉総務費）	226,373	3,401	0	51	27,000	195,921
	障害者福祉事業（障害者福祉費）	484,220	332,478	0	2	18,400	133,340
	老人福祉事業（老人福祉費）	131,460	190	1,300	29,867	12,100	88,003
	児童福祉事業（児童福祉費）	581,313	179,967	2,500	28,036	45,700	325,110
	小計	1,423,366	516,036	3,800	57,956	103,200	742,374
社会保険	国民健康保険事業（繰出金）	88,443	30,824	0	2	7,000	50,617
	小計	88,443	30,824	0	2	7,000	50,617
保健衛生	保健衛生事業（保健衛生総務費）	49,844	9,721	0	240	4,900	34,983
	保健予防事業（予防費）	100,287	43,657	0	7,774	5,900	42,956
	小計	150,131	53,378	0	8,014	10,800	77,939
合計		1,661,940	600,238	3,800	65,972	121,000	870,930

７　小鹿野町役場・担当一覧

小鹿野町役場　【小鹿野町小鹿野８９番地】

総務課 ７５－１２２１(代)	町長秘書、人事、給与、研修、厚生、選挙、管財、文書管理、法制執務、人権、 行政区・コミュニティ、広聴広報、統計、危機管理の総合調整、消防防災など
総合政策課 ７５－１２３８	予算編成、起債管理、行政改革、総合的施策の企画調整、各種計画策定、 地方創生、入札・契約、情報政策、情報公開・個人情報保護など
税務課 ７５－４１２４	町民税・固定資産税などの町税及び国民健康保険税の税額の決定と徴収、 税務証明の発行など
住民生活課 ７５－１４１８	戸籍、住民異動・証明、印鑑登録・証明、国民年金、環境保全、防犯、 交通安全など
こども課 ７５－４１０１	妊娠期からの子育て総合相談窓口 母子保健、こども園、保育所、児童手当、乳幼児医療など
会計課 ７５－４１３６	支出負担行為の確認、収入・支払いに関すること、預金・基金の運用、 決算の調整など
議会事務局 ７５－４１９９	議会事務、議会運営など
まちづくり観光課 ７５－５０６０	観光、消費生活、観光協会、振興公社、町営バス、自然公園、 移住定住促進など
産業振興課 ７５－５０６１	商業振興、農業・農道、林業・森林管理道、農業委員会、農業者年金、工業、 企業誘致、自然エネルギーなど
建設課 ７５－５０６２	町道新設改良、建築営繕、地籍調査、町営住宅管理、道路管理、都市計画など
学校教育課 ７５－５０６３	学校教育事務、小中学校校舎維持管理、小中学校教育、学校給食など

両神振興会館　【小鹿野町両神薄２９０６番地】

両神振興会館管理室（住民生活課） ７９－１１２２	戸籍、住民票及び税務関係などの証明書発行業務

地域資源活用センター　【小鹿野町両神薄２３９５番地】

地域商社推進室（まちづくり観光課） ７２－８０８０	「株式会社地域商社おがの」の運営支援、観光施設の経営企画など

保健福祉センター　【小鹿野町小鹿野300番地】

福祉課 ７５－４４２１	民生委員、社会福祉、高齢者福祉、障害者福祉、国民健康保険（税以外）、 後期高齢者医療、介護保険など
保健課 ７５－０１３５	健康増進・健康管理、保健指導、予防接種、いきいき館事業、介護予防、 在宅介護など

町立病院　【小鹿野町小鹿野300番地】

町立病院 ７５－２３３２	総合診療科(内科・外科)、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、心療内科、 リハビリテーション科

衛生センター　【小鹿野町伊豆沢10番地】

衛生センター（住民生活課） ７５－０３５２	浄化槽の設置・管理・保守点検・清掃、し尿・浄化槽汚泥等の収集運搬など

小鹿野文化センター　【小鹿野町小鹿野167番地1】

生涯学習課 ７５－００６３	生涯教育、青少年健全育成、芸術文化振興、文化財保護、スポーツ振興、 各体育施設の管理など
中央公民館（生涯学習課） ７５－００６３	小鹿野文化センターの管理運営、文化活動の推進、各種講座、 その他公民館事業など

両神ふるさと総合会館　【小鹿野町両神薄2713番地1】

両神公民館（生涯学習課） ７９－１３１１	両神ふるさと総合会館管理運営、文化活動の推進、各種講座、 その他公民館事業など
町立図書館（生涯学習課） ７９－０１５０	図書館の管理運営、資料の収集、貸し出し、各種事業、学校図書館支援、 公民館等との連携事業など